

教 員 の 業 績				
職 名		准教授	学 位	修士(経済学)
氏 名	カ ナ	マツダ タカン	役 職 名	学生支援委員長
	漢 字	松田 岳		
1. プロフィール		立教大学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程後期課程(単位取得退学)		
		(財)国際通信経済研究所、金融庁総務企画局政策課研究開発室金融研究研修センターを経て、2005年より現職		
2. 主な担当科目		金融論、経済学概論		
3. 専門分野		地域金融論、アメリカ経済論		
4. 主な研究テーマ		米国のコミュニティ開発金融の円滑化		
5. 主な研究業績	著書	『終わりなき世界金融危機：バブルレス・エコノミーの時代』, 共著, 2012年9月, 岩波書店		
		『バブル・リレー：21世紀型世界恐慌をもたらしたもの』, 共著, 2009年2月, 岩波書店		
	論文	「低所得コミュニティの生成と固定化に関する一考察」(研究ノート)共著、2016年3月、『富士論叢』第60巻第1号		
		「金融危機後の国際マネーフロー：欧米の銀行活動を中心に」共著, 2013年11月、『富士論叢』第58巻第1号		
		「金融危機後の米国の州・地方財政」単著, 2012年3月、『FUJI BUSINESS REVIEW』(東京富士大学総合研究所)第4号		
		「米国の商業用不動産貸出問題とその展望」「米国のコミュニティ開発金融とその支援策」,単著, 2012年3月,『FUJI BUSINESS REVIEW』(東京富士大学総合研究所)第4号		
		「世界金融危機後の米国金融システムの行方：不良債権問題を中心に」, 単著, 2011年,『信用理論研究』(信用理論研究学会)第29号		
		「米国のコミュニティ金融におけるCDFIの役割—金融アンバンドリングの観点から—」, 単著, 2011年6月,『経済経営研究』(東義大学校[韓国]経済経営戦略研究所)第6巻第1號		
		「金融危機後米国の金融規制改革の有効性に関する一考察」, 単著, 2010年3月,『FUJI BUSINESS REVIEW』(東京富士大学総合研究所)第2号		
		「金融取引への監督・規制強化は実現するか 『未曾有の危機』のトラウマが癒える前に」, 単著, 2009年10月,『世界』岩波書店、第796号、2009年10月号		
		「米国の金融資産バブルと国際マネーフロー」「米国住宅価格急騰の金融メカニズム」(査読論文), 単著, 2009年3月,『FUJI BUSINESS REVIEW』(東京富士大学総合研究所)第1号		
		「地域内資金循環の円滑化—地域通貨と地域金融機関」, 単著, 2007年10月,『季刊個人金融』(財団法人ゆうちょ財団)Vol.2、No.3、2007年秋号		
		「コミュニティ開発法人与地域活性化」, 単著, 2006年2月,『信用組合』(社団法人全国信用組合中央協会)第53巻第2号、2006年2月号		
		「イタリアの地域・中小企業金融支援策の一側面—Artigiancassaへの現地調査を通じて—」, 単著, 2005年11月,『FUJI ACCOUNTING REVIEW』(東京富士大学税務会計研究所)10号		
		「米独の金融自由化とセーフティ・ネットの展開」(査読論文), 共著, 2004年12月,『FSAリサーチレビュー』(金融庁金融研究研修センター)Vol.1		
		「米独の預金保険制度の比較分析～破綻処理と規律付けを中心に～」, 共著, 2004年3月,『成城大学経済研究所研究報告』, No.39		
6. 所属学会		日本金融学会、信用理論研究学会		
		経済理論学会		
東京富士大学				